科目		学籍番号		氏名	

朝日新聞 時事ワークシート
新聞の読み解き

自転車　反則金は16歳以上

〈2023年11月11日付　朝日新聞朝刊36面より〉

解答

1 警察庁が検討する自転車による交通違反の反則金制度についてまとめた次の文中の①～⑥にあてはまる語句を語群から選びなさい。

警察庁は、自転車による比較的（①　軽微　）な違反について、反則切符（青切符）を受けて反則金を納めれば（②　刑事罰　）を科せられない「交通反則通告制度」の導入を検討している。案では、反則制度の対象は（③　16　）歳以上。酒酔い運転や他の車両や歩行者に対するあおりなどの（④　妨害　）運転など20数種類は対象外で、これらは従来通り交通切符（赤切符）の対象となる。一方、現在赤切符で取り締まっている（⑤　信号　）無視や一時不停止、遮断機が下りた踏切への立ち入りなど約（⑥　115　）種類の違反は、青切符での処理に変わるとみられる。

語群〔　16　115　妨害　軽微　信号　刑事罰　〕

2 スマートフォンなどを使用して自転車を運転する「ながら運転」も問題になっています。ながら運転に対する①現在の対策、②検討されている対策について、それぞれ簡単に説明しなさい。

（例）①　都道府県公安委員会規則で禁止している。

（例）②　道路交通法上の違反にして反則制度の対象にする。

3 自転車の交通違反を減らすために反則金制度を導入する動きについてどう思いますか。あなたの考えを、100字程度で書きなさい。

（例1）有効な手段だと思う。自動車と比べて自転車の交通ルールはあいまいで、違反に対する意識が低い人も多いため、反則金制度の導入は注意喚起になる。制度を導入する際は、対象となる違反行為をしっかり周知することが大事だ。

（例2）実効性に疑問が残る。自転車による軽微な違反はたくさんあり、警察官の人数も限りがあることから、全ての違反を取り締まることは難しい。取り締まりを厳しくするよりも、自転車の安全教育を徹底する方が効果的ではないか。

解説

1 記事や「自転車の違反の反則制度案」の図を参考に空欄を埋める。近年、自転車利用が進み、歩行者にけがを負わせるといった事故が増加。警察庁のまとめでは、自転車の交通違反の検挙件数は2022年は２万4549件で、10年間で3.4倍に増えた。ただ、赤切符を受けて送検されても、起訴されるのはわずかだという。

2 記事最後の段落を参考にする。自転車のながら運転による事故で、高額な損害賠償を請求された事例もある。

3 警察庁は、違反を減らすには取り締まり制度を変えるべきだと判断し、反則金制度の導入を目指している。制度の課題や、制度を実効性のあるものにするにはどうすべきか、考えてみよう。

© 朝日新聞社2023

科目		学籍番号		氏名	

朝日新聞 時事ワークシート
新聞の読み解き

自転車　反則金は16歳以上

〈2023年11月11日付　朝日新聞朝刊36面より〉

解答

1 警察庁が検討する自転車による交通違反の反則金制度についてまとめた次の文中の①～⑥にあてはまる語句を語群から選びなさい。

警察庁は、自転車による比較的（①　軽微　）な違反について、反則切符（青切符）を受けて反則金を納めれば（②　刑事罰　）を科せられない「交通反則通告制度」の導入を検討している。案では、反則制度の対象は（③　16　）歳以上。酒酔い運転や他の車両や歩行者に対するあおりなどの（④　妨害　）運転など20数種類は対象外で、これらは従来通り交通切符（赤切符）の対象となる。一方、現在赤切符で取り締まっている（⑤　信号　）無視や一時不停止、遮断機が下りた踏切への立ち入りなど約（⑥　115　）種類の違反は、青切符での処理に変わるとみられる。

語群〔　16　115　妨害　軽微　信号　刑事罰　〕

2 スマートフォンなどを使用して自転車を運転する「ながら運転」も問題になっています。ながら運転に対する①現在の対策、②検討されている対策について、それぞれ簡単に説明しなさい。

（例）①　都道府県公安委員会規則で禁止している。

（例）②　道路交通法上の違反にして反則制度の対象にする。

3 自転車の交通違反を減らすために反則金制度を導入する動きについてどう思いますか。あなたの考えを、100字程度で書きなさい。

（例1）有効な手段だと思う。自動車と比べて自転車の交通ルールはあいまいで、違反に対する意識が低い人も多いため、反則金制度の導入は注意喚起になる。制度を導入する際は、対象となる違反行為をしっかり周知することが大事だ。

（例2）実効性に疑問が残る。自転車による軽微な違反はたくさんあり、警察官の人数も限りがあることから、全ての違反を取り締まることは難しい。取り締まりを厳しくするよりも、自転車の安全教育を徹底する方が効果的ではないか。

解説

1 記事や「自転車の違反の反則制度案」の図を参考に空欄を埋める。近年、自転車利用が進み、歩行者にけがを負わせるといった事故が増加。警察庁のまとめでは、自転車の交通違反の検挙件数は2022年は２万4549件で、10年間で3.4倍に増えた。ただ、赤切符を受けて送検されても、起訴されるのはわずかだという。

2 記事最後の段落を参考にする。自転車のながら運転による事故で、高額な損害賠償を請求された事例もある。

3 警察庁は、違反を減らすには取り締まり制度を変えるべきだと判断し、反則金制度の導入を目指している。制度の課題や、制度を実効性のあるものにするにはどうすべきか、考えてみよう。

© 朝日新聞社2023